

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>グループホームの開設時に管理者や職員が話し合いながら決めた独自の理念です。</p>	<input type="radio"/>	<p>地域の中に溶け込んでいくのは当たり前と考えまして、理念の中には地域の文言が入っていませんでしたので、今後職員とも話し合いながら、理念の変更も考えながら、新たな理念を作り上げたいと思っています。</p>
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>ホーム内に理念を明示してありますし、日々理念の実現に向けて努力しています。</p>	<input type="radio"/>	<p>常に頭の中に入れるように、定例会、申し送りなどを利用し、管理者含め職員全員に徹底するようにします。</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>入居時には必ずホームの理念、方針は説明するようにしています。</p>	<input type="radio"/>	<p>入居時ではなく、見学するときにも説明するようにします。地域の人々には今後ホーム便りを発行した際に、回覧板で回してもらえるように依頼しております。</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>買い物や散歩の時には顔なじみの方には挨拶だけではなく、ホームに遊びに来ていただく等の働きかけは行っています。</p>	<input type="radio"/>	<p>もちつきなどの行事に気軽に参加できるような関係、又は散歩の折にちょっと遊びに来たよのような関係を築き上げたいと思っています。</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会には加入しており、盆踊りや運動会などの地域の行事にはできる限り参加するようにしております。</p>	<input type="radio"/>	<p>町内会の会合にはできる限り出席いたしまして、ホームでの生活の過ごし方などをお話するようにしたいと思います。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>ホームのもちつき大会などの行事には参加を呼びかけています。</p>	<input type="radio"/>	<p>職員やご利用者合わせて、歩道の清掃なんかを行いたいと思っています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	定例会等を利用して、自己評価及び外部評価の意義を伝え、前回の結果についても職員全員で話し合いました。	○	入居者のできること、できないことの見極めについては定例会や申し送りを利用いたしまして、何度も話し合っております。献立表のチェックについては協力施設の幸栄の里の栄養士の方に見てもらっております。手すりにつきましては職員ともいろいろ話し合っておりますが、結論は出ていません。
8 ○運営推進介護を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議で出された運営状況やサービス向上のためのご意見は真摯に受け止めて、今後の質の向上に役立てています。	○	平日の午後に開催しているため、出席者が固定されているため、今後は土曜日や日曜日、又は平日の夕方若しくは行事のあるときと一緒に行動しながらいろいろバリエーションをつけて行いたい。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	地区の管理者連絡会の時に意見交換をしており、必要に応じて個別的に意見を求めています。	○	今後とも、必要に応じて相談できるように密に連絡を取り合い、サービスの質の向上に取り組んでいきます。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	ひととおり、大まかな知識は持っており、理解はしているつもりです。今後、成年後見制度を利用する入居者がおりましたら、支援していくように致します。	○	今後より研鑽に励みまして、より深い知識を得るよう致します。又、他の職員にも伝えるようにしていきます。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。	虐待防止の研修にも参加しており、毎日の業務の中で職員全員が各々気をつけて接しています。	○	研修で学んだことは定例会や申し送りを利用して、職員全員に伝えるようにしています。
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	見学時におおまかな説明はするようにしており、契約時には契約書、重要事項説明書を入居者やご家族と一緒に読み合わせ、ご理解やご納得していただいた後に、署名と捺印を頂いております。	○	条文を読んだ後、より詳しい説明を行い又はその条文ごとに疑問点を尋ねるようにして、ご理解いただけるようにしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>定例会などで職員から、又は直接入居者からホームの運営に関する不満、意見、苦情は聞くようにしています。すぐにも反映できるものは実行するようにしています。</p>	<p>○</p>	<p>外部者へ意見や苦情を訴えることができるように、入居者へ苦情相談窓口の住所や電話番号を伝えるようにしています。</p>
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>面会時を利用して、又は電話でその都度ご家族に入居者の健康状態、日常生活の過ごし方を伝えるようにしています。預かり金に関しましては、2か月に一度金銭出納帳を発行し、ご家族に説明しています。</p>	<p>○</p>	<p>現在は休止しているごきげん便りを早く再開するように努めます。また、メールでのお便り発信やホームページでの紹介なども検討しています。</p>
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議や面会時を利用して、ご家族からのご意見、不満、苦情は聞くようにしています。外部の苦情相談窓口の紹介も行っています。</p>	<p>○</p>	<p>ご家族から出された、意見や不満、苦情は定例会等を利用いたしまして、職員に伝え、話し合うようにしています。その結果はご家族に伝えるようにしています。</p>
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定例会及びその都度、運営に関する意見や提案は聞くようにしており、こちらからも尋ねるようにしています。</p>	<p></p>	<p></p>
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>入居者の状況に応じて、勤務時間の延長や休日出勤、シフト時間の変更を行っています。</p>	<p>○</p>	<p>管理者も状況に応じて、シフトに入るようにしています。</p>
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>資格の取得により賃金を段階的に引き上げています。シフトも職員の生活環境にできる限り配慮し、働きやすい環境を作り、離職を抑える努力をしています。やむを得ず離職する場合は、最低1ヶ月間の期間を設けています。</p>	<p>○</p>	<p>全職員を正社員に登用するように提案しています。業務管理シートを作成し、職員のモチベーションを上げるようにしています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	札幌市の実践者研修には毎回参加するようにしています。介護福祉士やケアマネジャーの資格取得を勧めています。介護技術講習会への参加も積極的に勧めています。	○	実践者研修には対象職員は全員参加させる予定です。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	同じ地域のケア連絡会やグループホームの管理者連絡会には積極的に参加しており、お互いの悩みや困っていることを話し合いながら、解決できるように取り組んでいます。	○	現在は管理者しか参加していないのですが、今後は職員も参加できるように取り組んでいきたいです。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	休憩時間や休日を確保できるようにシフト調整を行っています。休憩は現場から離れて取るようにしてもらっています。	○	仕事上の悩みの他、プライベート上の悩みなども聞くようにしていきたいです。法人本部に職員の相談窓口を設置するように働きかけています。
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	業務管理シートを各々作成してもらっており、その中で職員個々の業績や努力は褒め称えるようにしています。	○	努力や実績に関しては賃金面でも評価できるように働きかけていきます。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前にご本人と会い、お話をよく聞く機会を設けています。ご本人の不安なこと、困っていることをよく聞き、入居してからなるべく寄り添う時間を多く設けて、不安を最小限にするようにしています。	○	入居前は二度三度とお話を聞く機会を設けたいです。入居後もシフトを調整して職員を多く配置するようになりたいと思っています。
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	電話での受付時や見学時には多く時間を割くようにしています。今の悩みや困っていることを聞くようにしています。その上で他のグループホームも見学するように勧めています。	○	見学も一度だけではなく何度も来てもらい、その際に職員や入居者と話してもらおう機会を作っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>25 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居前の相談ではよく話を聞いて、グループホームの利用ではなく、他のサービスを利用して生活が可能な場合は、グループ内の他の事業所を紹介するようにしています。</p>	<input type="radio"/>	<p>サービス事業所の紹介に当たってはグループ内だけではなく、連絡会や研修などで知り合った他の事業所を紹介することもあります。</p>
<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>26 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>その入居者に合った柔軟な対応をご家族と相談しながら取り入れています。入居当初は慣れてもらうことを第一に考えています。</p>	<input type="radio"/>	<p>ご家族と相談、あるいは協力を仰ぎながら、なるべく早くホームに馴染んでもらえるように工夫しています。</p>
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>27 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>一緒に過ごす時間の中で話をしたり聞いたりしているうちに、その人の考え方とかこれまでの人生がわかってきます。</p>	<input type="radio"/>	<p>聞いたことをセンター方式に記入し記録に残しておきたい。又、それをご家族に教えてあげたいです。</p>
<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>28 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族が面会に来たときは、こんなことがありました、こんなことを言っていましたと、管理者のみならず職員から言うようにしています。</p>	<input type="radio"/>	<p>記録もご家族にお見せするようにしています。</p>
<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>29 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>あまり面会に来られないご家族の方には電話を利用して、近況報告を行っています。その際に一言お母様お父様が寂しがっているようですと付け加えるようにしています。</p>	<input type="radio"/>	<p>プライベートな問題なので、あまり深入りはしないように心がけています。</p>
<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>30 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>電話や手紙の取次ぎはもちろん致しております。手紙が来た方には返事を書くように声をかけています。</p>	<input type="radio"/>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	合う人合わない人は十分承知していますので、食事の時の座席などはよく考えて座ってもらうようにしています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	ご本人のことをよく知っているものとして、また専門知識を有するものとしてご家族ご利用者には相談にのっています。	○	お花見などの行事の時には声をかけるようにして、つながりというものを大切にしていきたいと思っています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	食事の支度、食事の時間、入浴の時間、排泄の時間など一人ひとり個別に関れる時間を通して、ご利用者の考えや思いを聞くように努めています。	○	月に一回、職員とご利用者の合同会議などを開催したいを思っております。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活歴や馴染みの暮らし方に関してはご家族から、これまでサービスを利用していた方からはその責任者の方からお話を聞くようにしています。	○	面会に来られた親戚やご兄弟の方からも、努めてお話を聞くようにしています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	その日の触れ合い、その日の記録などから今日はいつもと違う、いつもと同じであると職員全員で共有するようにしています。	○	排泄の状態、水分や食事の摂取量、ご本人の状態などから総合的に把握できる力を職員全員が身につけるようにしていきたいです。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	介護支援専門員がまず、このようになれば良い、又はこういう風にはできないのかと、理想像をお話し、そこからご家族やご本人、職員全員が具体的な考え、アイデアを出し合いながら介護計画を作成するようにしています。	○	センター方式を活用して、ご家族とホームでキャッチボールのような関係になりたいものです。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定期的には見直しをしておりますし、現状の介護計画で対応できない変化が生じた場合には定例会等で職員と、ご家族とは電話、面会時を通して話し合い、又、ご本人ともその都度話し合いながら、介護計画を作成するようにしています。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	一目で見たら、その日の様子や状態がわかるような記録を目指しています。	○	いつも見やすく一目でわかる記録用紙の変更に取組んでいます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	現在入居されている方の状況や意向、要望に応じて通院、外出、外泊の支援を行っています。	○	合同で行事を行い、地域の人々にも参加を呼びかけていきたいです。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	生け花のボランティアの方には月一回来ていただいています。	○	入居者の楽しみや生きがいを充実させるためにも、今後さらにボランティアの方や民生委員の方にも協力を要請していきます。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	現在希望されている、又は必要とされる他のサービスは利用していません。	○	今後は必要に応じて他のサービスを利用することに取り組んでいくつもりです。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	現在は希望される、又は必要とされる地域包括支援センターとの協働は行っていません。	○	運営推進会議を活用して、地域包括支援センターと協力していきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	入居時にご本人及びご家族の希望をお伺いし、以前からのかかりつけ医を希望される場合はそのまま継続するように支援しています。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	現在は入居者それぞれが信頼している、認知症に理解あるかかりつけ医に相談したり、治療を受けてもらっています。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	入居者の通院されている近隣の病院の看護師とは気軽に何でも相談できる関係を築いています。	○	看護職員の新規採用又は訪問看護ステーションとの契約に今後は取り組んでいきます。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入居者のかかりつけ医とは常日頃から気軽に情報交換や相談できる関係を築いています。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	入居時に重度化された場合のあり方についてはご家族と口頭で確認しています。	○	今後重度化や終末期のありかたについては、段階的にご本人、ご家族、かかりつけ医等の意向なり、希望なりを文書で確認しあいながら進めていきます。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	現在は重度化された、あるいは終末期を迎えた入居者はおりませんが、今後の変化に備えるようにはしています。	○	ホームとしては可能なこと不可能なことを、ご家族やかかりつけ医に文書で示し、お互いに確認しあいながら、ご本人にとって一番最良の方法を支援していくつもりです。そのことに向けて、今後は勉強会を開き準備していきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>入居される場合はご本人ご家族はもちろんのこと、他のサービスをご利用されている場合はその関係者から、口頭あるいは文書で情報を提供してもらっています。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>常に敬うことを心がけています。記録や申し送り、伝達事項のときはお部屋番号若しくはイニシャルで行うようにしています。</p>	○	<p>入居者の情報を伝える場合は大きな声で喋らないようにし、決して他の入居者の耳には入らないようにしています。</p>
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>衣服を選んでももらう時もこれとこれはどちらが良いですかというように選んでもらったりしながらしています。こちらから無理に決めるのではなく、どちらが良いか選んでもらうようにしています。</p>	○	<p>入居者の力に合わせて、説明するようにしています。</p>
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>入居者一人ひとりの希望を聞きながら、その日の体調などを考慮しながら、散歩や買い物支援をしています。</p>	○	<p>基本的な一日の流れはありますが、あくまでも基本なのでその日の入居者の希望要望にできるだけ沿うようにしています。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>入居者やご家族の希望を聞いた髪形にしていますし、通院を含めた外出時には外出用の装いをしたり、お化粧したりして、おしゃれを楽しむようにしています。</p>	○	<p>入居者の希望や力に合わせて、訪問理美容を利用したり、近くの理美容店に行くようにしています。</p>
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>メニュー、買い物、調理、盛り付け、配膳、片付けに至るまで、入居者の力に合わせて、職員と一緒に行動するようにしています。</p>	○	<p>入居者一人ひとりが何らかの形で参加できるように支援しています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	飲み物やおやつに関しては入居者ひとりひとりの状況に合わせて、好みのものを出すようにはしています。	○	お酒やたばこに関しては病状にもより、医師から止められている方もいるため、なるべくは出さないようにはしています。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	入居者一人ひとりに合わせて誘導したり、ポータブルトイレを利用したりと、入居者の力でできるように支援するようにしています。	○	排泄のおおよその時間の間隔や排泄の合図は把握していますので、そのような時はさりげなく一緒に行き、支援しています。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入居者のこれまでの習慣や希望にあわせて、入浴を楽しんでもらえるように支援しています。	○	入浴を好まない方には、洗髪が嫌なのか、裸になることが嫌なのか、寒いのか、それともただ単に面倒なだけなのかを把握しまして、それぞれに対応を変えながら、入浴を楽しんでもらえるように支援しています。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	入居者ひとりひとりの睡眠パターンは把握しており、その時々表情や動きをみながら、言葉かけ等をおこなったりしています。	○	眠れない入居者にはあまり無理強いせず、温かい飲み物を勧めたり、お話を聞くようにしています。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	ご本人、ご家族からお話を聞き、本人のできること、やりたいことをかなえるようにしています。	○	歌が好きな方には一緒に歌い、家事仕事が好きの方には一緒に調理したり後片付けをしたりと、入居者ひとり一人に合わせて支援するようにしています。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族とも相談の上、お金を所持できる方は所持するようにはしてもらっています。それ以外の方はお金を預かるようにしています。	○	食材の買い物を入居者同士で出来るように、段階的に取り組んでいきたいと思っています。
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	買い物をしたい、日光浴をしたい、土いじりをしたい方等、入居者一人ひとりのその日の希望に応じて、戸外にでられるように支援しています。	○	希望を言うことのできる方だけではないため、なるべくすべての入居者を外気に触れることの出来るように取り組んで行きたいです。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	外食、お花見、盆踊り、お祭り等への外出の支援は日頃から行っております。	○	お墓参り、選挙の投票、ふるさとへの訪問、温泉一泊旅行などを今後は行っていきます。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話をかけたい方は事務所の電話を使ってもらっています。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会は時間を制限しておらず自由に行っています。職員も挨拶や笑顔を絶やさないようにしており、気軽に面会に来れる雰囲気づくりをしています。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	入居者への支援を変更するときには、定例会や申し送り等を利用して、常に職員全員でそのことが身体拘束にあてはまらないか話し合うようにしています。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	階段の出入り口には施錠はしていますが、エレベーターへの出入り口は施錠しておらず、いつでも自由に出入りできるようになっています。	○	落ち着かない入居者の方にはさりげなく職員が声をかけて、一緒に外出したり、ドライブに出かけたりしています。
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	なるべく日中はお手伝いをお願いしたりして居間や食堂で過ごしてもらうように声をかけています。夜間はトイレに行く時や物音、気配などで様子や所在を確認しています。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	薬や洗剤、刃物は引き出しや扉つきの物入れに保管しています。ご理解できる入居者には場所をわかるようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	事故防止のための知識はマニュアル等を通してひととおり学んでおり、その上で入居者一人ひとりの状態を常に職員全員で話し合い、確認しながら事故の防止に取り組んでいます。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	開設時に専門家による救命講習は行っております。	○	職員全員が上級救命講習を受講できるように取り組んでいきます。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	定期的に避難訓練や消火器の使い方の訓練は実施しています。	○	運営推進会議を通じて、町内会に非常時の場合は協力しあうことができるように取り組んでいきます。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	入居者一人ひとりに対して起きる可能性のある、転倒転落などのリスクはご家族に説明してありますし、了承は取っています。	○	なるべく自由に過ごしてもらうことが尊厳のひとつでもあると考えていますので、ギリギリまでは入居者の思い通りにさせてあげたいと思っております。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日の行動や表情、声の調子の変化、バイタルチェック等により体調の変化の早期発見に努めています。	○	体調の変化に気がついたときは職員間で話し合い、このまま様子を見るか、受診するか対応を決めています。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の目的や副作用に関しては、職員全員が把握しており、服薬の管理、支援、確認に努めています。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	食事は野菜を多く取り入れています。また散歩や外出、運動など身体を動かした後は必ず水分を取ってもらうようにしています。	○	ご飯のなかにしらたきを混ぜるなどして工夫しており、便秘の予防には力を入れております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	歯磨きは毎食後に必ず行っています。出来る方は一人で、そうでない方はそのひとのできる力に応じて支援するようにしています。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	入居者一人ひとりの状態や、希望に応じて食事量を変えています。毎回記録しており、食事量が減ってきた方には好物のものを勧めたり、食べやすく栄養のある食物を食べてもらうようにしています。	○	これまでは、不定期に管理栄養士に献立表を見てもらいアドバイスを受けていたが、今後は定期的に相談するように取り組んでいきます。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	必ず出勤時や介護した後は手洗いをするように徹底しています。排泄介助の場合にはゴム手袋を使用するようにしています。	○	インフルエンザ対策に関しては入居者、職員ともども毎年予防接種を受けています。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	ふきん、包丁、まな板は1日の最後に必ず消毒殺菌し、冷蔵庫は定期的に清掃するようにしています。食材は先入れ先出しを心がけています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	表札は掲げていますし、和風の玄関や植木を両側に設置しましてやわらかい優しい雰囲気を出しています。	○	花などを置いてもっと親しみやすい気軽に入りやすい雰囲気作りに取り組んでいきます。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	耳障りな音や光はないようになっており、壁には入居者の写真や展示物を掲示しており、季節感や生活感を取り入れるようにしています。	○	浴室の壁が殺風景なので、気持ちよくお風呂に入ることができるような工夫を考えています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食卓やソファ、椅子をそれぞれ配置しており、ひとりになったり、気のあう入居者同士が座れるように工夫をしています。		
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた家具や、なじみの日用品をできるだけ持ち込んでもらうように、ご本人ご家族にお話しています。		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	空調は24時間換気しており、匂いがこもらないようにしております。	○	まめに温度計をチェックし、入居者にとって適正な温度になるように調節しています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	トイレや浴室に手すりを設置しています。廊下や居室はできるだけ安全に歩行してもらいたいという考えから歩行器の使用や職員による手引き歩行を行うようにしています。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	トイレの表示や表札を張ることで間違いを防ぐ工夫をしています。		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	建物の外回りは活用できるスペースはなく、ベランダも現在は活用していません。	○	ベランダにおいてプランターによる野菜を植えたり、花を生けたりできるように考えています。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> ②家族の2/3くらい <input type="radio"/> ③家族の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ○②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>○①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ○②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ○②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

入居者の方々には外出、買い物、生け花、外食などの希望をできるだけ叶えるようにしています。ご自分で表現できない方でも、ご家族からあるいは日々一緒に暮らしていることから推測するなどして、喜んでくれるような笑ってくれるような介護を行っています。ご家族につきましては、気軽に自由に面会できて、要望できるような雰囲気を作って、職員と一緒に支援できる関係作りを少しずつ作っています。地域の皆様につきましては、やはり気軽に相談できる関係、それにはいつでも立ち寄ることができてお茶などが飲めるような雰囲気作りを作っていきます。